

科目名		授業形態	担当教員名	
社会福祉学		講義	岡本 正平	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (2 単位)		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
1.実践現場(医療・福祉等)における視能訓練士の役割として、個別援助サービスを展開する場合、対象者の抱える多様な福祉課題を認識し、対象者を人間としてのトータルな視点を有することが必要である。2.社会福祉は、生活上の福祉課題を明らかにし、リハビリテーション・ノーマライゼーションの理念のもと、人間が人間として相応し生活を営む権利を保障していくことである。これは老若男女を問わず人間一人ひとりが当事者性を認識することが肝要である。以上を受けて、障害者・高齢者福祉他を中心に基本的な社会福祉の視点を始め、概論・各論について現況・課題、制度とサービスについて事例を多く紹介し、実践学として社会福祉を身近なものとし、又自分自身の問題とするための内容としたい。				
授業の到達目標				
社会福祉で習得する知識をロービジョン学に発展させる。 障害者児童・高齢者などの支援に関係する社会福祉の法律や制度について理解をする。				
授業計画				
回	内容			
1	総論 社会福祉を学ぶこととは			
2	概論Ⅰ 社会福祉の歩みとキーワード			
3	概論Ⅱ 社会福祉基礎構造改革以降の動き			
4	概論Ⅲ 社会福祉関連法と施設・機関及び福祉人材(専門職)			
5	地域福祉 その意味と推進について			
6	社会保障制度Ⅰ 基本的な考え方			
7	社会保障制度Ⅱ 社会保険制度及び生活保護制度			
8	児童福祉Ⅰ 児童をとりまく現状と課題			
9	児童福祉Ⅱ 法律と社会資源他			
10	障害者福祉Ⅰ 現状とその捉え方			
11	障害者福祉Ⅱ 制度とサービス			
12	高齢者福祉Ⅰ 高齢社会の現状			
13	高齢者福祉Ⅱ 要援護高齢者と介護問題			
14	高齢者福祉Ⅲ 老人福祉関連法(介護保険法を除く) 他			
15	高齢者福祉Ⅳ 介護保険制度			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	社会保障全般にわたる理解内容を評価基準とする		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
よくわかる社会福祉 第11版	山縣文治 他編	ミネルヴァ書房		
自由記載	レジュメ・講義(参考)資料を配付する			
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
なし				
自由記載				
備考				